

株主総会における本市の発言要旨

1. ゼロカーボン社会実現への貢献について

ゼロカーボン社会の実現には、電力・エネルギー分野におけるリーディングカンパニーとして、関西電力の果たすべき役割は非常に大きいと考えている。

再生可能エネルギーの最大限導入・主力電源化に加え、水素エネルギーの利活用拡大、原子力発電の安全性確保・使用済燃料対策、火力発電の非化石燃料化を推進し、発電・小売部門の双方においてゼロカーボン化に取り組む必要があると考える。

また、AI の普及やDXの進展に伴い将来的な電力需要の増加が見込まれる中、関西電力は2040 年までに再生可能エネルギーを累計 900 万 kW 開発する目標を掲げているが、その広域的かつ最大限の利用には、電力系統の整備や、系統用蓄電池等を活用した需給調整機能の創出を、早急に進めていく必要があると考える。

以上を踏まえ、ゼロカーボン社会実現への貢献について、今後の方針と具体的な取組を伺う。

2. 電力の安定供給と電気料金の高騰抑制について

電力は市民生活及び社会・経済活動の基盤であり、ロシアによるウクライナ侵略の長期化や中東情勢のさらなる緊迫化による影響など、将来の見通しに対する不確実性が一層高まる中、多様なエネルギー源を長期的に確保し、安定的な電力供給を維持することで、市民生活や経済活動に及ぼす影響を最小限にとどめることが重要である。

併せて、発電効率の向上や徹底した経営の合理化・効率化を行い、電気料金の高騰抑制及び安定化に最大限努める必要があると考える。

そこで、電力の安定供給と電気料金の高騰抑制について、今後の方針と具体的な取組を伺う。